

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

August / 12 / 2022 # 113

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『AETYB 2022 Malaga Part 2』

[2] Pepeのひとりごと

『もしも・・・』

[3] おすすめ動画

『ミューズ・トロンボーン・カルテット デビューコンサートツアー ～Song & Dance～』

『BERNSTEIN - Candide Overture // Opus 333 Quartet』

[4] 演奏のヒント！

『喉が締まっている？ Part 2』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『AETYB 2022 Malaga Part 2』

先月号は、スペインからの配信でした。

その後、AETYBのイベントも無事に終わり、とても充実した時間を素敵な仲間たちと目一杯楽しんで日本に戻ってきました。

最終日にはマラガ・シンフォニーの首席トロンボーンのJoseとも知り合うことができ（偶然！）、トロンボニストとしてもいい経験が

できました。 :D

いつかどこかで一緒に演奏できる機会があるといいなあ。

AETYBのコンGRESでは、スペインを中心に、いろいろな国の人たちと出会うことができ、新しいつながりをたくさん持つことができました。

コンクールでは、若い人たちの才能にとってもいい刺激をもらいました。そして、新しい曲との出会いもまたとてもいい刺激となりました！
これからの活動に勢いをつけてくれます。 ;)

こういうことが、のちのち自分の財産となっていくんですね。
こういうご時世ではありましたが、思い切って参加してよかったです。

まさに今、韓国で国際コンクールが行われていますが、ぜひ若い人たちにはどんどんと外に出ていろいろな体験を積み重ねていてもらいたいと思います。

・・・昨日、音楽雑誌「パイパーズ」にAETYBのコンGRESの記事を書いて出しました。

これから少し手直しをしてもらう予定ですが、順調に行けば、10月発売の号に乗せていただく予定です。

ぜひ読んでみてください。

そして、多くの人たちに次回（予定では2年後に開催）参加してもらえたら、と思います。

[2] Pepeのひとりごと

『もしも・・・』

あるとき、ふと思ったことがありました。

「もしも、自分の音楽活動に関して魔法がかけられるのなら」

みなさんなら、どのような魔法をかけてもらいたいですか??

候補に出てきそうなものでパッと思いつくのは、

- ・音を外さなくなる魔法
- ・いつもいい音（その曲や場面にピッタリあった音色）で吹けるようになる魔法
- ・本番で緊張しなくなる魔法
- ・小節を数え間違えない魔法

とかかな?? (笑)

僕がもし魔法をかけてもらうのなら、「音を外さなくなる魔法」などは避けると思います。
だって、その魔法が切れるときのことを考えると、そっちのほう怖くて・・・ (笑)。

そのあたりは努力でなんとかしましょう。 ;)

ちなみに、僕が思いついたかけてもらう可能性の高い魔法は、

- ・ 忘れ物や遅刻をしない魔法
- ・ 第九のときなどに便意が来ない魔法

のどちらかかなあ?? (笑)

[3] おすすめ動画

『ミューズ・トロンボーン・カルテット デビューコンサートツアー ～Song & Dance～』

<https://www.youtube.com/watch?v=qnQxqGd3pUM&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2>

今月の1つ目の動画は、海外で活躍中の日本人女性トロンボーンプレイヤーが集まって結成されたカルテット「ミューズ・トロンボーン・カルテット」の動画です。

僕は残念ながらコンサートは聴きに行けなくて、この動画での演奏しかまだ聴いたことないのですが、早く生で聴いてみたいカルテットの一つです！

今回の日本ツアー、まだ間に合う公演もあります！
ぜひ会場に足を運んで聴いてみてくださいね！！ ;)

『BERNSTEIN - Candide Overture // Opus 333 Quartet』

<https://www.youtube.com/watch?v=joz5fJmANho>

2つ目の動画は、FranceのSaxhorn Basse4重奏団の「Opus333」の動画です。

AETYBのコンGRESで、僕が個人的に1番衝撃を受けた演奏は、彼らの演奏でした。

この動画は観たことがあったのですが（もしかしたら、昔ここでもすでに紹介しているかもしれませんが）、生で聴いて、本当に衝撃を受けました！

個人的にSaxhorn Basseはほとんど吹いたことないのですが（リムが大きすぎて僕には吹きにくかったです）、この楽器ばかりの4重奏、思っていたよりも表現力がすごいです！（まあ、この名手4人が揃ってるから、というのもありますが。笑）

ぜひ、日本のみなさんにも生で聴いてもらいたいです！

（来年の夏に日本に来るようですが、コンサートができるようになるのかどうか・・・。僕も、そのときは全力で協力させてもらいますよ！）

[4] 演奏のヒント！

『喉が締まっている？ Part 2』

今日は、先月の続きで、「喉が締まっている？」について。

先月号で喉を締めて吹いてみてください、と書きましたが、実際にやってみたでしょうか？

中には、「喉を締めて吹くってどういうこと??」という状態になった人もいます。

そう、喉を締めて何かをするってことはとても不自然なことで、なかなか日常ではすることはないと思うんです（実際にやってみると、とても苦しい状態になると思います）。

こういうことから、僕は（個人的に、ですが）喉を締めて演奏をしている人はほとんどいないと思っています。

自分が喉を締めて演奏している、と思っている人は、まず普段の状態でも喉を締めて話してみる、などをしてみてください。それができたら、その後その状態で楽器で音を出してみましよう。

そういう音でいつも吹いていたのなら、その人は実際に喉を締めて演奏をしてしまっていた人だと思うので、喉を締めない状態で演奏ができるように注意をして修正をしていってください。

多くの人は、そんな状態では吹いていないと思います。

わざと喉を締めた状態で話をしてみて、それができたら楽器で音を出してみましよう。

そんなに潰れた苦しそうな音ではない、と思った人は、喉を締めて吹いてはいないということだと思うので、ムリに喉を開いて吹こうとするのをやめてみましよう。

次に気をつけてみることにして、マウスピースでバズィングを試してみてください。

このときに、しっかりと「息を吐き出しながら」やってみましょう。

そうすると、唇と息のバランスについてわかりやすくなると思います。息と唇で作る抵抗のバランスはとても大切なので、注意深く練習をしていってくださいね。

編集後記

先月に続き、今月もギリギリの発行となってしまいました・・・。
いやあ、いろいろなものが同時にあって思うように書き進んで
いけませんでした（涙）。

夜遅くの発行、ごめんなさい。

今年の夏は、例年よりもオーケストラの活動が忙しく、この殺人的な暑さの中でのハードなスケジュールに、1日1日を無事に過ごしていくことに集中して過ごしている、という感じです。

早く涼しくなってくれ～～！！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>